

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号 0703 - 14

事務事業名	予防接種事業経費	担当組織	健康部	保健予防課
-------	----------	------	-----	-------

事業特性													
事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画ノ一般	計画	計画事業No.	3	-	3	-	3	-	109
単独/補助	国・都補助+区上乗せ事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsゴール	3								
事業を構成する予算事業	① 予防接種(定期)経費			② おたふくかぜワクチン接種助成経費									
	③ 先天性風しん症候群予防対策経費			④ 小児インフルエンザワクチン接種助成経費									
	⑤ HPVワクチン男性接種助成経費			⑥ 帯状疱疹ワクチン接種助成経費									

政策体系(令和5年度基本計画)						
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		政策	健康な生活の維持・増進		
施策	健康危機管理の強化		政策番号	3-3-3		
関連する個別計画	豊島区健康プラン		計画策定年度	平成30年3月	計画期間	2024~2029年度

1. 事業の概要・指標の達成状況										
(1)実施の対象(具体的に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種法による定期接種対象者の区民および、任意接種(おたふくかぜワクチン等)の費用助成対象者の区民</li> <li>・先天性風しん症候群予防対策事業対象者(妊娠を希望する女性・妊娠を希望する女性または妊婦のパートナーまたは同居者)</li> </ul>									
(2)事業の目的・期待する効果	予防接種により、感染症による重症化を防ぐとともに、集団感染の拡大を予防し、区民の健康な生活を維持する。									
(3)事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期・任意予防接種対象者に個別通知と費用助成を行い、接種率の向上を図る。</li> <li>・先天性風しん症候群予防対策事業として、妊娠を希望する女性等の風しん抗体検査費用と、風しん感受性者への任意予防接種費用を全額助成する。</li> </ul>									
(4)目標の達成状況	5年度の取組内容(5年度に実施した具体的な業務内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期予防接種対象者へ個別に予診票を発送して接種を勧奨し、接種者に対して費用助成(全額・一部)をする。</li> <li>・任意接種(おたふくかぜワクチン等)の対象者に、個別に予診票を発送して接種を勧奨し、接種者に対して接種費用の助成をする。</li> <li>・先天性風しん症候群予防対策では、区と契約する実施医療機関で風しん抗体検査を行い、風しん感受性者への任意予防接種を実施する。費用については全額助成する。</li> </ul>								
	成果指標	成果指標事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)
	① 子宮頸がんワクチン接種率		↗	%	53.6%	70.0%	89.9%	128.4	92%	
	② (先天性風しん症候群)風しん発生届		→	件	0	0	0	100.0	0	
③ おたふくかぜワクチン接種率		↗	%	97.3%	95.0%	97.7%	102.8	98%		
指標の説明	①及び③は各予防接種の接種率(①については、1回目接種完了者を接種の規準年齢とされる中一相当年齢者人口で除した値)。②は予防接種費用の全額助成対象となる風しんの抗体価確認									
達成状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
(5)取組実績	活動指標	活動指標事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)
	① 子宮頸がんワクチン案内発送件数		→	件	2,708	800	797	99.6	800	
	② 先天性風しん症候群抗体検査件数		↗	件	632	1,500	1,007	67.1	1,500	
	③ おたふくかぜワクチン発送件数		→	件	1,872	1,900	1,793	94.4	1,900	
指標の説明	①及び③は各予防接種の予診票等の発送件数。②は予防接種費用の全額助成対象となる風しんの抗体価確認のための検査件数で、妊娠を希望している女性およびパートナー又は同居のかたは検査費用が全額助成される。									
達成状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 ①及び②の予診票等発送件数は、人口ベースでは漏れなく発送されており、ほぼ目標値(転入による増分も想定)に達している。②の検査件数は前年比160%増だが、妊娠希望者での需要が想定を下回った。								

2. 事業費の推移									
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	4年度		5年度			6年度			
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R5決算比)		
事業費	A	1,169,233	983,158	1,131,455	1,067,436	94.3%	1,645,801	578,365	
財源内訳	国、都支出金	B	134,411	127,647	118,012	106,992		358,749	251,757
	使用料・手数料		0	0	0	0		0	0
	地方債・その他		135,001	98,564	133,294	113,462		120,199	6,737
	一般財源	C=A-B	—	756,947	—	846,982		1,166,853	319,871
正規職員人数※小数点第1位まで		3.0	名	3.0	名		6.0	名	
会計年度人数※小数点第1位まで		1.0	名	1.0	名		1.0	名	

### 3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和5年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	B	根拠	各成果指標が概ね目標値に達しているため					
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。								
①目標に対する成果状況を踏まえた課題									
定期接種などの予診票や案内はがき送付などで接種勧奨・周知を実施しているが、妊娠希望者の先天性風しん症候群抗体検数が計画値に至らないなど、予防接種に関する効果・理解や接種意欲の更なる向上が課題となっている。									
②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)									
帯状疱疹ワクチン任意接種の一部助成の実施について多くの問い合わせがあり、想定以上の接種実績となるなど、区独自の取り組みが予防接種の促進に寄与した。									
(2)業務(事務)改善に向けた取り組み	【業務(事務)改善に向けた取組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	業務委託や電子申請・デジタルサイネージなどを活用し、業務の効率化・利便性向上を実現している。					
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。								
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)								
	定期接種などの予診票や案内はがき送付などで接種勧奨・周知を実施しているが、妊娠希望者の先天性風しん症候群抗体検数が計画値に至らないなど、予防接種に関する効果・理解や接種意欲の更なる向上が課題となっている。								
	②現状の実施状況における所管課の認識								
事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。		無	選択した理由	定期接種は法律に基づく。任意予防接種は、重症化や感染症の発生予防などに有効な手段である。					
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。		有	選択した理由	予診票申請受付の他に、発行・封入封緘など委託可能でかつ効率的な業務について委託済。					
サービスに係るコストは適正か		適正	選択した理由	ワクチンの単価は23区共通単価となっている。					
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。		無	(有の場合)事業名						
③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況									
対応、改善を既に行った		はい	はい	取組内容及び効果	予防接種の理解促進及び接種勧奨のための各種広報・ハガキ送付の実施	予算措置	有		
はい・いいえどちらも (はいの場合は更なる対応・改善の予定)									
対応、改善の予定		有	無	対応、改善の予定がない理由					
有		対応、改善の内容	新型コロナワクチン・小児インフルエンザ・男性HPVワクチン・高齢者肺炎球菌ワクチンなどの接種費用助成措置	予定時期	令和6年4月以降順次				
		予算措置	有	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	接種率の向上	予算措置を伴う理由	被接種者の経済的負担の軽減など	
(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	予防接種により、各種疾病の感染・重症化予防、集団感染の予防ができ、区民の健康維持のために必要な事業である。					
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。								
	①区が実施する理由(複数選択可)								
区民の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック		○ 法律の要請を受けて行う事業である。							
民間事業者等に同様のサービスがない。		その他(理由)							
②区民ニーズ									
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	①	③	指標番号(活動)	②	サービス利用者数	50名以上
		有・無どちらも	推移	↗	↗	推移	↗		
区民ニーズに対する認識	感染症による死亡・重症化予防、集団感染拡大を防止するための重層な施策として区民ニーズは非常に高い。								

総合評価(d) = a + b + c	ランク2
---------------------	------

#### 4. 【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について

<p>(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載</p>	<p>予防接種により感染や発症、重症化を予防できる病気は病気になる前に予防すべきであり区民のニーズも高い。一方で、予防接種を受けることに不安を感じている区民がいることも考えられる。そのため、今後も各予防接種について区民に向けてリスクコミュニケーションを十分に行いつつ事業を継続し、接種率の向上につなげていく。また、新たに実施すべき予防接種についても都度検討を行っていく。</p>
<p>上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)</p>	<p>带状疱疹ワクチンについては令和5年6月から一部費用助成を開始したが、広報紙やホームページ、個別医療機関でのポスター掲出などで周知・接種勧奨を図り、令和5年度中では4,733人(生ワクチン:428回、不活化ワクチン:7,700回)の接種実績となった。また、子宮頸がんワクチンは、4月から9価ワクチンが定期接種化されたため、4月に対象者に対しお知らせのハガキを送付するとともに、広報紙・ホームページなどで、ワクチンの安全性及び有効性が副反応のリスクを上回ることを発信した。</p>

<p>改善に向けた取組内容についての自己評価 (e)</p>	<p>予定通りに進んだ</p>	<p>根拠</p>	<p>子宮頸がんワクチンの接種率が目標値に達した。</p>
--------------------------------	-----------------	-----------	-------------------------------

#### 5. 令和6年5月末時点の状況

<p>①令和6年度当初の課題・ニーズ</p>	<p>新型コロナウイルスワクチンの定期接種化について、区民及び医師会・医療機関など関係機関への周知・情報提供を行うとともに、接種体制を整えて安全・安心な予防接種を推進する。また、HPVワクチンのキャッチアップ接種が令和6年度で終了するため、接種を希望する方が接種機会を逸しないように広報・周知を滞りなく行う。さらに、各種予防接種について、接種に関する周知と費用負担の助成措置を行うことで接種率の向上を図る。</p>
<p>②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)</p>	<p>①新型コロナウイルスワクチンの予防接種について、特例臨時接種が令和5年度で終了し、令和6年度から定期接種化(B類疾病)。②HPVワクチンのキャッチアップ接種が令和6年度で終了。③高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種について、国の経過措置の終了に伴い、定期接種の対象外となる66歳以上の方の救済措置として、1年間に限り任意接種する場合の費用の一部助成実施。④風しん抗体検査・予防接種について、助成額(全額)の措置が令和6年度で終了⑤小児インフルエンザの任意接種の接種費用一部助成</p>
<p>③令和6年度の方向性・取組方針(事業展開)</p>	<p>①高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用助成を4月から実施(令和6年度のみ) ②男性HPVワクチンの接種費用一部助成を6月から実施 ③小児インフルエンザの接種費用一部助成を10月から実施 ④新型コロナウイルスワクチン定期接種の接種費用一部助成を10月から実施(予定) ⑤带状疱疹ワクチンの費用助成を継続し、接種率の向上と区民の健康維持に寄与する。 ⑥HPVワクチン等の接種勧奨や広報周知、予診票の送付などを継続し予防接種の推進を図る。</p>
<p>④令和6年度の事業進捗状況</p>	<p>①小児インフルエンザ及び新型コロナウイルスワクチン定期接種の一部助成について、予算措置を実施(2定補正) ②男性HPVワクチンの申請受付を実施(電子申請も含め、想定数を超える申請実績を得る) ③高齢者肺炎球菌ワクチンやHPVワクチンの接種などについて、としまテレビや区長記者会見を含む広報・周知を実施</p>
<p>⑤区民等からの事業に対する意見・要望</p>	<p>①新型コロナウイルスワクチン定期接種について、接種費用の助成について区民の声などで要望が上がっている。 ②男性HPVワクチンの接種について、接種費用の助成を含む問い合わせが多数上がっている。</p>
<p>⑥上記⑤に対する対応</p>	<p>新型コロナウイルスワクチン及び男性HPVワクチンの接種費用助成については、補正予算で措置し計上した。</p>

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

<p>今後の事業費予算要望 (f)</p>	<p>増額</p>	<p>根拠</p>	<p>法により、予防接種の種類が年々追加され、かつ、高額なワクチンも使用しなければならない。</p>
-----------------------	-----------	-----------	--

<p>今後の事業の方向性(d+e+f) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)</p>	<p>S</p>	<p>※eは該当の事業のみ加味</p>
---	----------	---------------------

上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降に向けての対応を記載(改善方法、課題への対応など)  
令和6年第2回定例会にて新たに定期接種となった高齢者新型コロナワクチンと新たに助成を開始する小児インフルエンザワクチンについて補正予算を計上。